

令和8(2026)年度十勝農試定期作況報告 菜豆

月	作況	事由
6月20日	平年並	近年の夏期高温傾向を考慮し、播種は平年より7日遅い6月3日に行った。このため、出芽期は平年より8～9日遅かったが、出芽に要した日数は概ね平年並であった。草丈および葉数は平年を下回っているが、生育は概ね順調である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
7月20日	平年並	播種を平年より遅らせた影響を受け、開花始は平年より4～6日遅かったが、出芽から開花までの日数は3～4日短かった。6月下旬は低温だったが7月中旬は高温に経過し、降水量も十分あったため、草丈は「雪手亡」では平年並、「大正金時」では平年より長く、両品種とも葉数は平年を上回り、分枝数は平年より少なかった。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
8月20日	やや良	7月下旬から8月初旬は低温傾向だったがその後は高温に推移しており、生育は概ね良好である。「雪手亡」は草丈と葉数が平年を下回り、分枝数は上回っている。「大正金時」では草丈と葉数は平年を上回り、分枝数は下回っている。着莢数は両品種とも平年を上回っている。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
9月20日	やや良	開花始が平年より遅かったことに加え、9月上旬の低温の影響を受け、「大正金時」の成熟期は平年より10日遅く、「雪手亡」は成熟期に達していない。「大正金時」では着莢数は平年を上回っており、一莢内粒数は平年並である。「雪手亡」の着莢数は成熟期の平年値と比較してやや多い。 以上のことから、現在の作況はやや良である。

生育データ

品種名		雪 手 亡			大 正 金 時		
項目／年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(月日)		6.3	5.27	7	6.3	5.27	7
出芽期(月日)		6.15	6.7	8	6.17	6.8	9
開花始(月日)		7.22	7.18	4	7.15	7.9	6
成熟期(月日)			9.17		9.7	8.28	10
草丈 (cm)	6月20日	4.9	7.4	△ 2.5	6.9	10.1	△ 3.2
	7月20日	56.6	57.3	△ 0.7	50.3	44.6	5.7
	8月20日	59.6	67.3	△ 7.7	53.7	44.7	9.0
	9月20日	59.2					
	成熟期		64.9		52.2	44.6	7.6
葉数 (枚)	6月20日	0.1	1.0	△ 0.9	0.1	0.9	△ 0.8
	7月20日	7.2	6.4	0.8	4.1	3.7	0.4
	8月20日	6.3	6.9	△ 0.6	4.7	3.5	1.2
主茎節数(節)	成熟期		8.9		6.0	5.5	0.5
分枝数 (本/株)	7月20日	6.0	8.4	△ 2.4	5.4	7.5	△ 2.1
	8月20日	9.8	8.2	1.6	5.6	6.8	△ 1.2
	9月20日	5.6	－	－	－	－	－
	成熟期		8.4		9.3	7.1	2.2
着莢数 (莢/株)	8月20日	35.7	27.5	8.2	23.7	18.1	5.6
	9月20日	35.4	－	－	－	－	－
	成熟期		30.5		21.3	17.7	3.6
一莢内粒数(粒)			4.20		2.74	2.68	0.06
総 重 (kg/10a)			674			479	
子実重 (kg/10a)			354			208	
子実重平年比(kg/10a)			100			100	
百粒重 (g)			33.4			59.4	
屑粒率(%)			21.1			47.8	
品質(検査等級)			2上			3中	

備考 1) 平年値は、前7か年中、令和5年(豊作年)および令和7年(凶作年)を除く5年平均である。
2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
3) 屑粒は、病害粒、変色粒(色流れ)、未熟粒等を含む。
4) 子実重、百粒重は水分含量16.0%に換算した値。
5) 品質(検査等級)は、農産物検査規格に準じるものである。

耕種概要

一 区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株 本数	株数 (株/10a)
12.0	3	ソルガム	60	20	2	8,333

施 肥 量 (kg/10a)					
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆 肥	その他
4.0	20.0	11.2	4.0	なし	なし